

医療圈別具体的対応方針等検討状況整理票

資料2-2

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R3.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1	施設基準の 状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3		「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方に ついて」から集約・抜粋((プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4		「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5						
						地域 医療 支援	救急 医療 施設	在 宅 療 養 支 援	在 宅 療 養 後 方 支 援	終 末 期 医 療						
						R3.7.1	R7.7.1									
1	周南	下松中央病院	一般 療養 99 28 71	回復 慢性 99 28 71	回復 慢性 99 28 71	地ケア 41 41	○				・4機能のうち慢性期が中心。 ・R4.4.1、同一法人が運営する鹿野博愛病院から慢性期病床38床を移管することについて、R3.12.9の調整会議において合意済。	・地域における慢性期機能も必要であるため、慢性期機能を維持しつつ、不足している回復期への転換を図る。 ・鹿野博愛病院から移管した慢性期38床のうち、18床を令和6年の病院建替えに併せて回復期へ転換する。	回復 慢性 137 46 91			
2	周南	下松病院	療養 51 51	慢性 51 51	慢性 51 51						・慢性期機能を担う。	・当院は1病棟のみの小病院であるので、当院のみで複数の機能を持つた病院として運営することは不可能である。 ・慢性期病床のみとなる。	慢性 51 51			
3	周南	周南記念病院	一般 療養 250 200 50	急性 回復 250 150 100	急性 回復 250 150 100	回りハ 地ケア 100 50 50	○	○			・3機能のうち、二次救急医療などの急性期機能を担いながら充実したリハビリテーション施設を活かし、患者の在宅復帰に向けた回復期機能まで取り組んでいる。	・周南地域の二次救急医療機関ならびに下松市の中核病院として、救急患者の受け入れを積極的に行っていく。なお、地域の高度急性期については、周南地域の基幹病院である徳山中央病院にお願いし、回復期については徳山中央病院からの受け入れを積極的にするなど、機能に応じた病院間の連携を図る。 ・併設する介護老人保健施設、訪問看護ステーション等と連携し、地域包括ケアシステム構築の要である在宅医療の推進に努める。 ・現在の急性期(150床)、回復期(100床)を維持する方針である。 ・訪問医療を実施している医療機関を支援し、在宅患者・施設入所者の急病時に地域包括ケア病床をバックベッドとして利用して貰う。	急性 回復 250 150 100			
4	周南	光市立大和総合病院	一般 療養 243 40 203	急性 回復 243 44 159	急性 回復 243 44 159	回りハ 44					・「光市立病院再編計画」に基づき、がん、脳卒中、生活習慣病等に対応する医療機能の充実や、リハビリや長期療養などの医療機能の整備、充実していくため、光市の2つの公立病院を1つの病院として捉え、2病院の医療機能を分化した。 ・大和総合病院は主として療養病床を中心とした慢性期医療・リハビリ、外来医療を担う病院とし、機能分化に必要な施設改修や人員配置を行った。	・周南保健医療圏は高齢の入院患者が増加することが見込まれていることから、引き続き主として療養病床を中心とした慢性期医療に取り組む。 ・入院医療(療養病床を中心とした慢性期医療、回復期医療)、外来医療(一般外来医療)、在宅医療(訪問看護、訪問リハビリ)、救急医療(一次救急医療)、その他(リハビリ医療、健診)。	急性 回復 243 40 44 159			
5	周南	光中央病院	一般 療養 98 40 58	急性 慢性 98 40 58	急性 慢性 98 40 58	地ケア 40 40					・急性期機能、回復期機能、慢性期機能を担う。 ・人間ドック健診センターの設置運営	・基本理念は地域医療への貢献であることから、休日、夜間の1次・2次救急について、少しでも守備範囲を広げるように努める。 ・在宅医療の充実のため、地域包括ケア機能の一翼を担う。 ・人間ドックの受診者を増やすし、悪性腫瘍や生活習慣病の早期発見に努める。	急性 回復 98 20 20 58			
6	周南	光市立光総合病院	一般 210	急性 回復 210 143 67	急性 回復 210 143 67	地ケア 47 47	○				・「光市立病院再編計画」に基づき、がん、脳卒中、生活習慣病等に対応する医療機能の充実や、リハビリや長期療養などの医療機能の整備、充実していくため、光市の2つの公立病院を1つの病院として捉え、2病院の医療機能を分化した。 ・光総合病院は主としてDPCを中心とした急性期医療、外来医療及び人工透析医療を担う病院とし、機能分化に必要な施設改修や人員配置を行った。	・周南保健医療圏における東部の一般急性期病院としての機能を担う。また、本圏域は回復期の病床が極端に少ないとから、これまで通り急性期及び回復期病床を確保する。 ・入院医療(DPCを中心とした急性期医療、回復期医療、終末期医療)、外来医療(一般外来医療)、在宅医療支援(民間診療所の後方支援)、救急医療(二次救急医療)、その他(へき地医療拠点病院、人工透析医療、がん治療の充実)。	急性 回復 210 163 47			
7	周南	みちがみ病院	一般 30	急性 30	急性 30						・ほぼ産科。	・地域の周産期医療。 ・思春期から更年期、老年期までの婦人科医療。	急性 30 30			
8	周南	梅田病院	一般 34	急性 34	急性 34						・産婦人科(主に産科)と小児科に特化した病院。	・山口県東部の妊娠管理、分娩(主に正常妊娠、分娩を中心に)を取り扱う。 ・山口県東部の婦人科疾患及び小児科医療の一次診療機関として役割を果たしていく。	急性 34 34			
9	周南	周南高原病院	療養 115 115	慢性 115 115	慢性 115 115		○				・慢性期機能を担う。	・法人として、周南市北部地区の医療・福祉・介護を提供する。 ・急性期、回復期を経過した患者の受け入れ。特に介護病棟は周南地区に当院しかない。介護度が高いが、医療的にはあまり治療の必要がない患者を受け入れない状況が続いている。	慢性 115 115			
10	周南	徳山リハビリテーション病院	療養 120 120	回復 120	回復 120	回りハ 120					・回復期機能を担う。	・現体制を維持して、今後も地域における回復期機能の一翼を担う。 ・市町との連携強化により、地域住民との連携を図ると同時に二次医療圏の地域基幹病院はもとより、医院・クリニック等との連携強化を図る。	回復 120 120			
11	周南	徳山病院	一般 78	回復 78	回復 78	地ケア 78 78		○			・地域包括ケアを主軸とした病院。	・地域に根差した病院として、急性期からの受入だけでなく、クリニックや施設からの受入を強化していく。 ・元の場所に元気になって戻る。	回復 78 78			
12	周南	黒川病院	一般 50	急性 50	急性 50						・急性期機能を担う。	・高度医療と外来医療の中間を担い、外来から手術まで脳神経領域をカバーする。	急性 50 50			
13	周南	周南病院	療養 56 56	回復 20 36	回復 28 28	地ケア 20 20	○				・回復期機能と慢性期機能を担う。	・周南病院で展開している在宅医療(訪問診療、訪問看護)を基軸にした施設等との連携を強化し、利用者の重症化を防ぐこと、急変時の自病院への入院受入のしくみを作ることで地域における当院としての役割を發揮する。	回復 56 36 20			
14	周南	周南リハビリテーション病院	一般 210 86 124	回復 40 170	回復 40 170	回りハ 40 40					・回復期機能と慢性期機能を担う。	・地域におけるリハビリを中心とした回復期機能の一翼を担う。 ・市町との連携強化により、地域住民への介護予防活動の積極展開により、地域との連携を図っていく。また、地域基幹病院との連携はもとより、クリニック等との連携も強化していく。	回復 210 44 166			

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R3.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1	施設基準の 状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3				「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方にについて」から集約・抜粋(「プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理） ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5						
						地域医療支援施設	救急医療支援	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数(2025)	変更あり	変更なし	検討中	具体的な変更内容等
15	周南	周南市立新南陽市民病院	一般 150	急性 150 回復 100 50	急性 150 100 50	地ケア 50 50	○				・当院は、介護老人保健施設「ゆめ風車」、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所「ゆめ風車」、訪問看護ステーションとともに、医療、保健、福祉の一體となったサービスを提供している。 ・自治体病院として、設立目的である地域住民の医療と福祉の増進を目指し、市との緊密な連携の下、併設の訪問看護ステーション等とも連携を深めながら、地域住民のニーズを的確に把握し、保健医療サービスの効果的、持続的な提供に努めている。	・周南西部地域の中核的な二次医療機関として、急性期医療などの質の高い医療を提供する役割、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等と連携・協力した、地域包括ケア病床を有する中心的な病院としての役割、疾患別地域連携バスを活用し、地域における病・病診の医療連携を強化する役割、二次救急医療に係る病院群輪番制病院としての役割等を担っていく。 ・生活習慣病の早期発見・早期治療に繋がる「健診事業」の充実整備の取組を推進していく。また、増加が予想される「人工透析」治療の需要に対して、地域における受け皿拡大の取組を進めていく。	急性 回復 150 100 50				
16	周南	湯野温泉病院	療養 161 161	慢性 161 161	慢性 161 161						・慢性的疾患を中心に行なう専門的治療が必要な場合は他の医療機関と連携を取りながら適切な医療を行っている。 ・天然の源泉を利用した温泉療法とリハビリテーションを積極的に推進。 ・特に機能低下の予防を重点に、PT・OT・STを配置。	・最新の医療施設を整備、温泉療法も完備し慢性的期療養病床病院としての役割を堅持する。 ・老人保健施設温泉の里を有し、病院と在宅のパイプ役として、在宅復帰の生活リハビリ等を行っていく。通所リハビリ・訪問リハビリ・ショートステイを併設し在宅ケアを推進、地域に貢献していく。 ・また、サービス付き高齢者向け住宅湯野温泉、デイサービス等を有し、高齢者に安定した生活の基を提供し地域社会に貢献していく。	慢性 161 161				
17	周南	鼓ヶ浦こども医療福祉センター	一般 100 100	慢性 100 100	慢性 100 100						・慢性期機能を担う。 ・児童福祉法及び障害者総合支援法による医療型障害児入所施設や療養介護事業所の機能も併せ持っている。	・山口県内におけるNICUの後方機関(入院・ショートステイ・在宅訪問等)としての体制維持と充実に努める。 ・在宅と入所の区別なく、障害児者のライフステージ全般にわたる支援を行う。 ・山口県には、障害児に対する公的な療育機関がない。その代替としての役割を担う。	慢性 100 100				
18	周南	地域医療支援病院オープンシステム徳山医師会病院	一般 330 230 疗養 100	急性 330 135 回復 95 慢性 100	急性 330 135 回復 95 慢性 100	回りハ 95 50 地ケア 45	○	○			・全国唯一の完全オープン型の病院であり、周南市の病院・診療所の医師が登録医となり、患者の入院から退院までの間一貫して診療する。入院中は主治医や他科の医師等と共同して診療し、患者に最適な医療サービスを提供するとともに、地域医療の充実、地域完結型医療体制に貢献している。 ・二次救急及び三次救急は、徳山中央病院の働きに負うところが大きいが、日常の急性期医療や回復期医療にも貢献しており、脳卒中後リハビリテーションや大腿骨骨折手術後のクリニカルパスでも一翼を担っている。その他、神経難病リハビリテーション患者の受入や地域の慢性期病院や介護施設と連携も積極的に実施している。	・地域医療支援病院としての役割を継続的に果たしていくとともに、オープンシステムの有効性を維持し、圏域の回復期機能の地域における役割を果たしていく。 ・現在の急性期(135床)、回復期(95床)、慢性期(100床)を維持する方向であるが、今後の医療需要の推移を踏まえ適正な病床規模について継続的に検討を進めていく。	急性 回復 330 135 95 慢性 100				
19	周南	徳山中央病院	一般 507 507	高度 507 急性 463 44	高度 507 463 44		○	◎			・周南医療圏の基幹病院として、高度急性期、急性期医療を担っており、周南地域休日・夜間にこども急救センター(一次救急)、小児急救医療拠点病院・病院群輪番制(二次救急)指定病院、救命救急センター(三次救急)としての使命、地域がん診療連携拠点病院としてがん治療に対し診断から治療、がん終末期医療として県東部地域では初めて緩和ケア病棟を運営している。 ・地域周産期母子医療センターとして、出産や周産期の高度急性期治療を新生児特定集中治療室(NICU)で対応、手術の重症例は特定集中治療室(ICU)で対応、臓器提供施設指定病院として、脳死下の臓器提供・腎移植等の実施、臨床研修指定病院として臨床研修医への研修の実施、DMAT指定医療機関としてDMAT隊の被災派遣、大津島診療所への医師派遣の実施等。	・地域で対応が困難な5疾病、5事業等への貢献。二次・三次救急医療、脳血管疾患発症時の緊急・内科的、外科的治療、急性心筋梗塞等心疾患に対するPTCA・バイパス手術等、小児・妊産婦への救急医療、悪性腫瘍の根治的手術・放射線治療、化学療法、災害医療、べき地医療。 ・当院では、高度急性期、急性期病院として地域医療を担っており、病床機能については、今後変わることはない。	高度 急性 507 463 44				
20	周南	田中病院	一般 52 52	急性 52 52	急性 28 28						・急性期機能(分娩)を担う。	・地域の分娩機関として、現状を維持していく。	急性 52 52				
21	周南	鹿野博愛病院	療養 74 74	慢性 74 74	廃止 0						R4.3.31無床診療所化(38床を下松中央病院へ移管、36床を介護医療院へ転換)について、R3.12.9の調整会議において合意済。	—	—			—	
病院小計			一般 3,018 1,835 疗養 1,183	高度 3,018 463 急性 818 642 回復 650 慢性 1,095	高度 2,920 463 急性 794 650 回復 650 慢性 1,013	回りハ 675 304 地ケア 371	2	5	4	1	0		2,982 高度 463 急性 818 回復 680 慢性 1,021	0	0	0	
22	周南	浅上内科胃腸科医院	一般 7 7	休棟 7 7	休棟 7 7						・外来診療のみ(休床中)。	・基礎疾患・危険因子の管理等初期診療の実施。	休棟 7 7				
23	周南	医療法人中山医院	一般 19 19	急性 19 19	急性 19 19						・回復期機能を担う。	・急性期機能の一翼を担う。	急性 19 19				
24	周南	英クリニック	一般 18 18	急性 18 18	急性 18 18						・急性期機能を担う。	・痛み、骨折で医療を必要とする人への対応。	急性 18 18				
25	周南	阿部クリニック	一般 19 19	急性 19 19	急性 19 19			○		○	・4機能のうち急性期が中心。	・今まで通り急性期医療から終末期医療まで担う。	急性 19 19				
26	周南	医療法人創世会篠山医院	療養 16 16	慢性 16 16	慢性 16 16					○	・慢性期機能を担う。	・現状維持。	慢性 16 16				

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R3.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1	施設基準の 状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3				「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方に ついて」から集約・抜粋((プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5						
						地域医療支援施設	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数(2025)	変更あり	変更なし	検討中	具体的な変更内容等
27	周南	医療法人社団光仁会市川医院	一般療養 19 1 18	回復 19 19	回復 7 7			○	○	○	・回復期機能を担う。	・地域における回復期機能の一翼を担う。	7 回復 7				
28	周南	医療法人やよい河村循環器神経内科	療養 4 4	慢性 4 4	慢性 1 1			○	○	○	・慢性期機能を担う。	・より地域に密着した医療を目指す。	慢性 1 1				
29	周南	徳本歯科医院	一般 2 2	休棟 2 2	廃止 0 0						・急性期機能を担う。	・歯科診療所として外来診療を重点的に行う。 ・当面は、急性期の患者を、短期間、緊急避難的に受け入れる程度の病床機能を維持するが、2025年までに病棟を閉鎖する方向で検討中である。	廃止 0 0				
30	周南	竹内医院	一般 15 15	回復 15 15	回復 15 15			○			・回復期機能を担う。	・外来診療と在宅診療の二本立の体制を維持する。 ・医療の末端部分を担当し、患者に一番近い存在であること。	回復 15 15				
31	周南	津永産婦人科	一般 9 9	急性 9 9	急性 9 9						・周南市において分娩を取り扱う有床診療所の一つで、婦人科疾患もオーブンシステム徳山医師会病院を利用し、年間約40件近くの手術実績がある。	・分娩を取り扱う施設が減少してきており、地域における周産期医療の一翼を担う体制を維持していく。 ・少子高齢化・晩婚化などに伴う医療需要の変化に対応する。	急性 9 9				
32	周南	医療法人広田眼科	一般 17 17	急性 17 17	急性 17 17						・急性期機能を担う。	・白内障、緑内障、網膜剥離、糖尿病網膜症など、急性期医療の提供体制の確保。	急性 17 17				
33	周南	医療法人 宇野医院本院	一般 19 19	回復 19 19	回復 19 19						・4機能のうち回復期を中心。	・高齢者の独居が多い地域の為、急性期後の回復、自立の為に当院の役割を再検討。又、二次病院では対応しきれない慢性期患者の対応も検討する必要がある。	回復 19 19				
診療所小計			一般療養 164 126 38	高度急性 82 回復慢性 53 休棟 9	0 82 回復慢性 20 休棟 7	164 高度急性 82 回復慢性 53 休棟 9	0 82 回復慢性 20 休棟 7	4 0	4 41 回復慢性 17 休棟 7	147 0 82 41 17			140 高度急性 82 回復慢性 41 17	0	0	0	
医療圏合計			一般療養 3,182 1,961 1,221	高度急性 463 回復慢性 900 休棟 695	3,067 463 876 691	3,182 高度急性 463 回復慢性 900 休棟 695	2 675 回りハ 304 地ケア 371	5 8 1 4					3,122 高度急性 900 回復慢性 721 1,038	0	0	0	

※1:令和3年度病床機能報告における病床数。

※2:中国四国厚生局「届出受理医療機関名簿(届出項目別)」において、【地ケア:地域包括ケア病棟入院料又は地域包括ケア入院医療管理料】、【回りハ:回復期リハビリテーション病棟入院料】を届け出ている病床数。

※3:【地域医療支援:地域医療支援病院の承認を受けた病院】、【救急医療施設:二次救急医療施設の認定を受けた病院は「○」、三次救急医療施設の認定を受けた病院は「◎」】、【在宅医療支援:在宅医療支援病院又は在宅医療支援診療所の届出のある医療機関】、【在宅医療後方支援:在宅医療後方支援病院の届出のある病院】、

【終末期医療:令和3年度病床機能報告における「有床診療所の病床の役割」の項目のうち、「終末期医療」を選択している有床診療所】

※4:「機能別病床数(2025)」については、令和4年12月までに調整会議において合意された2025プランの内容を反映している。また、有床診療所については、「病床機能報告による病床数」の「R7.7.1」の機能別病床数を反映している。

※5:「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」を行った結果、具体的対応方針(2025プラン等)について、①変更を行う場合、「変更あり」に○を付し、具体的な変更内容等を記載する。

②変更がない場合、「変更なし」に○を付し、変更しない理由等を記載する。③検討中の場合、「検討中」に○を付し、可能な範囲で具体的な検討内容を記載する。